

# おおもり



令和元年7月8日

東根市立大森小学校  
学校だより84号

## 子どもたちの姿から学ぶこと

### 『拍手（はくしゅ）』ってどんな時にするのか？

6月12日～14日の3日間、県朝日少年自然の家で行われた5年生の宿泊体験学習では、共に活動する仲間に自然な形で拍手をおくり合う子どもたちの姿に何度も出会い、そのたびに感動をしておりました。

『拍手』は明治時代からされるようになったようですが、手を叩くことにより賞賛（ほめる）・歓迎（こころよく迎える）・感激・感謝の時などを表現する行動と言われています。

宿泊体験期間中、様々な場面で、「喜びや悩みなどを共有し、それを自信にしたり、乗り越えたりしたからこそ自然にとれた行動である」と思うと、とても嬉しくなりました。

「人」は、漢字のつくり「人」のごとく、支え合って生きています。つまり、人は一人ではなく、常に、「支え合い、助け合い」を大切にして生活してきました。

子どもたちには、これからも、「自分から」の思いを大切にして、より多くの体験やかかわりを通して、「家族愛」や「郷土愛」、そして「人間愛」を育てていってくれることを期待しているところです。

### 間もなく「夏休み」・・・！

3週間もすれば、夏休みに入ります。子どもたちには、自分・仲間や家族に、『心から拍手が贈れる価値ある体験』をたくさんしてほしいと思っています。そのためにも、保護者の皆さまには、子ども自身が「新しい一歩」を踏み出せるように、そっと背中を押してチャレンジへの支援をしていただければと思います。

夏休みは、7月27日（土）から8月19日（月）までの24日間です。ご家族で、予定を話し合い、素敵な学びと思い出の多い夏休みになることを願っております。

### 児童主体の活動が新聞で紹介されました。（別紙：号外）

全国読書活動優秀実践校「文部科学大臣表彰」（前号「号外」で紹介）に引き続き、本校の児童会活動が新聞に大きく紹介されました。まだまだ歴史の浅い本校ですが、このような実績を少しずつ積み重ねながら、これからも伝統（受け継がれていくもの）本の1ページ1ページを丁寧に書き加えていきたいと思っています。

～すべては子どもたち一人一人の「昔も今も変わらない 子どもたちのすてきな笑顔のために」～

（校長：土屋 常 義）

